

とびまる賞

『図書館で出会った人たち』

平戸市 末永 うみ(生月小学校5年)

私が四年生の時に、お話会に参加しました。知っている子や知らない子がたくさんいて、私は、(友達をつくったり、上手に話せるかな。)

とドキドキと不安しかありませんでした。

でも、お話会が始まった時、ずっときえるくらい早くドキドキと不安がきえて、わくわくとうきうきしかありませんでした。

始めは、平戸図書館の部屋のことやクイズがありました。いろいろ、クイズをしたりしてくれました。

私が一番びっくりしたのは、クイズの「平戸図書館の本は何冊あるでしょう。」で私は三万冊かなと思っていたんですけど、答えが、約十四万三千冊あることがわかったし、びっくりしました。平戸図書館の部屋のことやクイズが終わると、次は「はたらく細胞」を見ました。人間の体の細胞のことが知れてよかったです。それに、夏休みだったので、自由研究の参考になりました。はたらく細胞を見終わると、次は平戸図書館の本を読む時間がありました。私は手話が得意だし、好きなので手話の本をさがしてみましたが、なかなか見つからず困っていると、平戸図書館の職員さんが、「どうしたんですか。」

とやさしく私に言ってきてくれました。

「手話の本をさがしているんですがどこにありますか。」

と言うと、

「手話の本だったら、あちらの棚にありますよ。」

と言ってくれたおかげで早く本を見つけることができました。

ほかにも偉人の本や絵本、小説などの本で仲よくなった子もいます。

平戸図書館は、私にとってすてき図書館です。

これからもたくさん平戸図書館を利用して、たくさんの人たち、本とふれあいたいと思っています。



平戸あごPR隊長 とびまる